原著論文

ブドウ台木用苗木「41 B」および「Fercal」における一酸化二窒素およびオリザリンの変異原性の効果について

Zeki Kara・Osman Doğan
（Department of Horticulture, Faculty of Agriculture, Selcuk University, Turkey）

Breeding Science 73: 355–364 (2023)

イネ（*Oryza sativa* L.）の穂首における維管束数の QTL の同定と特徴づけ

グエン ティ レ ハ[1,2]・末次　静[3]・中村悠女[3]・ズィタ デメテル[3]・鄭　紹輝[3]・藤田大輔[3]
（[1]鹿児島大学大学院連合農学研究科，[2]南ベトナム森林科学研究所，[3]佐賀大学農学部）

Breeding Science 73: 365–372 (2023)

Oryza rufipogon と 2 つの栽培品種 *O. sativa* Nipponbare および IR36 との間の正逆戻し交雑集団における野生および栽培対立遺伝子の表現型形質への効果

Phuong Dang Thai Phan[1,2]・西村彬則[1]・山本知佳[1]・Pham Thien Thanh[1,3]・丹羽俊博[1]・Yaddehige Priya Jayantha Amarasinghe[1]・石川　亮[1]・石井尊生[1]
（[1]神戸大学大学院農学研究科，[2]Nong Lam University, Vietnam，[3]Food Crops Research Institute, Vietnam）

Breeding Science 73: 373–381 (2023)

日本型水稲「さがびより」を遺伝的背景にもつトビイロウンカ抵抗性遺伝子の準同質遺伝子系統の作出と評価

ソウ ボ デイ シャ[1,2]・グエン ディン クン[1,3]・真田幸代[4]・安井　秀[5]・鄭　紹輝[6]・藤田大輔[6]
（[1]鹿児島大学大学院連合農学研究科，[2]Loikaw Research Center, Department of Agricultural Research, Myanmar，[3]College of Food Industry, Biotechnology Department, Vietnam，[4]農研機構植物防疫研究部門，[5]九州大学大学院農学研究院，[6]佐賀大学農学部）

Breeding Science 73: 382–392 (2023)

サツマイモの低稔実性と異常胚のうとの関連性に関する組織学的研究

村田達郎
（東海大学農学部）

Breeding Science 73: 393–400 (2023)

コムギ *AP2* 同祖遺伝子の miR172 標的部位内の突然変異は鱗被サイズと穂軸間長を調節する

アゲサ ビギー ナナペ [1]・フライ モー ヘイン [1]・杉本和彦 [2]・小林史典 [2]・大野陽子 [2]・半田裕一 [2,3]・小松田隆夫 [2,4]・掛田克行 [1]
([1] 三重大学大学院生物資源学研究科, [2] 農研機構作物研究部門, [3] 京都府立大学大学院生命環境科学研究科, [4] 中国山東省農業科学院作物研究所)

Breeding Science 73: 401–407 (2023)

ノート

ハトムギ（*Coix lacryma-jobi* L.）における赤色葉鞘を形態マーカーとした花粉飛散距離の推定

松井勝弘 [1,2]・田村隆幸 [3]・西澤けいと [1,4]・高田明子 [1,5]
([1] 農研機構作物研究部門，[2] 筑波大学生命環境系，[3] 富山県薬事総合研究開発センター薬用植物指導センター，[4] 農研機構野菜花き研究部門，[5] 農研機構基盤技術研究本部遺伝資源研究センター)

Breeding Science 73: 408–414 (2023)

VCF 形式の遺伝子型データからゲノム全域にわたる InDel および SNP マーカーを効率的にデザインするソフトウェア「V-primer」

夏目　俊 [1]・及川香梨 [1]・野村ちひろ [1]・伊藤和江 [1]・宇津志博恵 [1]・清水元樹 [1]・寺内良平 [1,2]・阿部　陽 [1]
([1] 岩手生物工学研究センター，[2] 京都大学大学院農学研究科)

Breeding Science 73: 415–420 (2023)